

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	29000	道路維持管理費	予算科目	会計	款	項	目	担当班	管理班
基本施策		18	安全で快適な道路の整備	根拠法令	道路法、旭市法定外公共物管理条例	8	2	2		☒ 主な事業	
施策の展開		35	市道の整備	戦略事業	173 市道の維持補修事業					☒ 国土強靱化地域計画	
施策の展開				戦略事業						☐ 新市建設計画	
										☐ 定住自立圏構想	
										☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	●認定市道及び法定外公共物において、道路排水路清掃、街路樹の維持管理等、道路に関する委託事業と作業員を常備することにより道路補修等、住民の要望に速やかに対応する。 【課員】道路排水路の日常的な管理業務 【作業員】主に道路の整地、草刈り、側溝清掃 【委託業務】市道植込(ツツジ、桜)保守、街路樹の維持管理、草刈り 【作業員】常時7人(繁忙期のみさらに2人)
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
車社会の到来により、舗装道路における破損の進行が著しく、破損箇所が起因となる交通事故、2次災害防止の目的及び排水路維持管理のため	・大型ダンプ等の通行により市道・農道の舗装の傷みが激しい。また、大雨による道路の冠水が発生している。 ・笹子トンネルの事故を契機として公共物をより適切に管理することが求められており、国の方針によって総合管理計画を28年度までに策定する必要がある。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
住民から道路舗装の陥没及び穴の補修の要望がある。また、農業用排水路について、家庭雑排水を放流している関係上、地元の生産組合管理の排水路等に堆積土があり流れが悪く、大雨が降ると道路が冠水するケースが発生しており、住民から苦情がある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)	単位: 千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 賃金	14,484	14,456	14,192	14,646	14,484	16,595
2. 需用費	8,181	11,504	11,497	12,794	8,181	12,793
3. 委託料	8,777	7,050	24,835	7,358	8,777	11,967
4. 原材料費	8,393	8,779	8,706	8,498	8,393	10,500
5. その他	3,853	4,198	4,288	8,012	3,853	13,818
② 特定財源の内訳(28年度の決算)	単位: 千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 国庫支出金	0					
2. 都道府県支出金	0					
3. 地方債	0					
4. その他	0					

費目内訳	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 賃金	千円	14,456	14,192	14,646	14,484	16,595
2. 需用費	千円	11,504	11,497	12,794	8,181	12,793
3. 委託料	千円	7,050	24,835	7,358	8,777	11,967
4. 原材料費	千円	8,779	8,706	8,498	8,393	10,500
5. その他	千円	4,198	4,288	8,012	3,853	13,818
事業費計(A)	千円	45,987	63,518	51,308	43,688	65,673
1. 国庫支出金	千円					
2. 都道府県支出金	千円					
3. 地方債	千円					
4. その他	千円					
5. 一般財源	千円	45,987	63,518	51,308	43,688	65,673

前年度増減理由	電気料金減額による減
---------	------------

従事職員数 常時 7人 最大 8人 × 日 = 延べ 0人

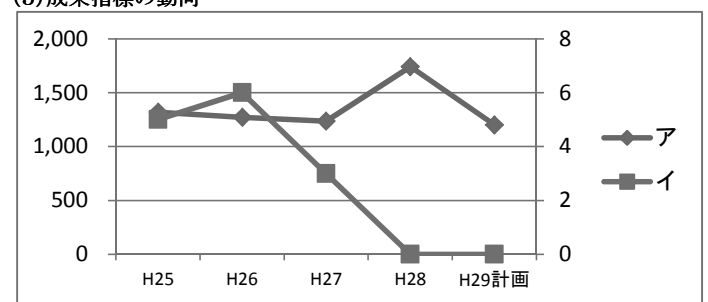
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
手段	28年度実績(28年度に行った主な活動)	ア 道路の定期草刈り箇所数(委託実施)	箇所	23	24	29	23	24
	道路排水路等清掃委託 道路維持管理	イ 作業員による道路補修等	件	436	500	600	800	500
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
目的	対象 ア 市道 イ 利用者(市民) ウ 街路樹	ア 年間要望・苦情の件数	件	1,320	1,271	1,235	1,741	1,200
	意図 ア 安全性の向上 イ 安心して通行できる	イ 道路維持管理に起因する車両事故件数	件	5	6	3	0	0
	対象意図 ウ 景観が保全される							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率	
大きい	かなりある	①	下位 1/3	
普通	ある程度ある	②	中位 1/3	
小さい	ほとんどない	③	上位 1/3	
		④⑤		
		⑥		
		⑦⑧	(7)	
		⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項	④ 今後の方向性
評価内容	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難 【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ 【コメント】(低下の場合、その理由) 台風や大雨により法面崩落及び倒木等の件数が増加したため	時期 通年 内容 道路パトロールを強化し事前準備、早期対策、実行に取り組む。	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他() 工事等による市道や法定外排水路等の路線数の増加に伴って、管理していく範囲も拡大するため、維持管理に係る業務は増えることが予想されますが、現在の状況を維持することが必要と考えます。
	比較	24年度 25年度 26年度 27年度 28年度	138 Δ49 Δ36 506 Δ541	
	成果動向	25年度 26年度 27年度 28年度 29計画	4 1 Δ3 Δ3 0	